

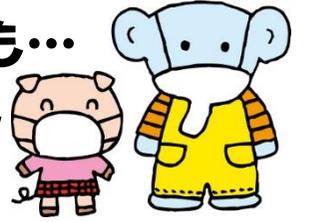
大阪市立柴島中学校 保健室  
令和6年 11月 15日 NO.9



**長引く咳・朝晩に咳がひどくなるのが特徴！**

**柴中生では咳だけで、熱が出なかったケースも…**

**気になる症状があれば、必ず受診しましょう！**



**「マイコプラズマ」 大流行続く 患者数最多並み 耐性菌が拡大**

子どもを中心に流行するマイコプラズマ肺炎について、国立感染症研究所は12日、11月3日までの1週間に全国約500の医療機関から報告があった患者数が1医療機関あたり2.46人（速報値）だったと発表した。現在の調査方法となった1999年以降で最多となった先週の2.49人から高止まりし大きな流行が続いている。専門家は「治療薬が効きにくいタイプが6割近くに上り、感染拡大の一因になっている」と指摘している。

マイコプラズマ肺炎は「肺炎マイコプラズマ」と呼ばれる細菌に感染することで引き起こされる。発熱や長引く咳などが表れ、多くは軽症だが、一部で重症化したり、心筋炎などを合併したりする。治療には「マクロライド系」という種類の抗菌薬がまず使われる。

川崎医大の調査では、今年1～9月に全国7医療機関で採取された細菌を解析したところ、マクロライド系が効きにくい耐性菌が56%を占めた。同大の大石智洋教授（臨床感染学）は「薬を2～3日飲んでも熱が下がらなければ、再度受診してほしい。耐性菌でも別の種類の抗菌薬を使えば治療できる」と話している。

—2024年11月13日（水） 読売新聞より—



# マイコプラズマ肺炎 大流行中！

柴島中学校でも、先週～今週の頭までは咳・発熱等の体調不良が相次ぎ、空席が目立った教室もあったように思います。大阪府の学校園の感染状況を見ていると、マイコプラズマ肺炎による欠席が頭一つ飛び抜けて多い状況です。

昨日（11月14日）の大阪府の学校園は、インフルエンザによる欠席者231人、マイコプラズマ肺炎による欠席者はインフルエンザの2倍以上の531人、学級閉鎖をしている学校8校、学年閉鎖をしている学校3校という状況でした。

来週はより一層気温も下がり、空気も乾燥することから感染は拡大すると予測されます。

一般的な風邪と同様、手洗い・うがい・こまめな換気・マスクの着用でしっかりと予防しましょう！

## 「咳」見分け方は??

**マイコプラズマ肺炎**

- 最初は「かぜ症状」
- こみあげてくるような咳
- 咳で食事がとれない、むせる
- 夜寝るときや、朝方にかけて咳がひどくなる
- 乾いた咳が出る
- 熱が下がっても咳がずっと残っている
- 1週間以上激しい咳がでることもある

**風邪やインフルエンザ等**

- 最初は「かぜ症状」
- たんが絡んでくるような咳
- 最初に乾いた咳が出て、だんだんと湿った咳に変わる
- “喉の痛み” “鼻水” “咳” の症状が同程度なことが多い
- 4～5日程度で症状が軽快していく

